

Vol.116

祝・卒業

2024年
2月29日発行

河瀬中・高 PTA 通信



—中国の「後漢書」に由来する校訓—

「志があれば、なんでもできる！」

心からありがとう! 新たな一歩へ Let's Go!

すべてに感謝

PTA会長 山本 喜彦



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。校長先生をはじめ、先生方におかれましては、これまで生徒たちに対し、温かく、時には厳しく、ご指導いただきましたことを、保護者を代表いたしまして御礼申し上げます。

保護者の皆様は、毎朝のお弁当作り、送り出しを3年間続けてこられました。日々、お子様を支え、応援してくださり、ありがとうございました。

この3年間は、歴史の教科書を書き替えるような出来事が立て続けに起こり、皆さんの人生観も変わったのではないのでしょうか。人々はお互いに助け合い、支え合い、困難を乗り越えてきました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、人を想う気持ちを持ち続けてほしいと思います。

卒業後の皆さんのご活躍を期待いたします。また、中学卒業の皆さんの多くは河瀬高校でさらに3年間学ばれます。中学での経験を生かしてリーダーシップを発揮していただければと思います。

誰かに感謝できる人に

校長 高田 武治



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。まずは、三年間あるいは六年間支えてくださった家族に感謝をしてください。誰かが校舎を開けていてくれる、誰かが教室の黒板をきれいに掃除してくれている。その誰かに感謝できる人になってほしいと思います。今後の人生で「時計の針を止められるなら、あるいは時を戻せるなら…」と思うことに必ず出くわすはずです。でも、時は止まってはくれません。そんなときも、感謝の気持ちを忘れずに、君たちの持ち前の若さとガッツで乗り越えていってください。

君たちの前途に幸多からんことを願っています。





羽ばたきゆく君たちへ

経験を糧に

教育振興会会長 重田 竜彦

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、感慨深い思いでこの時を迎えられたことだと思います。

さて、みなさんは、それぞれの夢を叶えるために旅立ちます。その道のりは決して平坦ではなく、途

中で高く大きな壁がたちはだかり、思わず逃げ出したくなることがあるかも知れませんが、壁を乗り越えた先に理想の自分が待っていると信じる気持ちが大切です。人生は必ずしも良いことばかりではありませんが、不安や迷い、辛い経験も後で振り返った時にいい経験だったとプラスの力に変えられるよう、夢に向かって歩き続けてください。

未来に向かって

PTA副会長(中学PTA) 川端 有加

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。中学校生活の三年間、勉強や部活動、学校行事など忙しい日々の中で楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、辛かったこと…たくさんの経験をしたことでしょう。それを乗り越え、今日を迎えるまでの立派な姿に成長されましたね。これは皆

さんが一日一日を一生懸命に過ごされたことはもちろんですが、それを支えてくれた友達、先生方、ご家族など数多くの人がいたことを忘れないで下さい。四月から新たな生活が始まります。新しい出会いや試練もあると思いますが、一人で抱え込まず、自分にしか出来ないような得意なこと、好きなことを見つけて、自信を持って進んでいってください。

YOKAZE

高校第3学年主任 西村 育浩



ご卒業おめでとうございます。それぞれの人生を楽しんでください。

みなさんに私が最近好きな曲の歌詞を紹介します。なるようになるさ大抵。

♪ 不安や不満を飛ばすため
窓を開けたHighway
車は走ってく
理由はあのNightmare
ただ争ったっていいだろ

これは俺の人生さ
なるようになるさ大抵
失敗すらいつかDigest♪

成功って何なのでしょう。失敗って何なのでしょう。今も、これからも、自分の人生です。時には羽目を外すこともあり、後悔することもあります。その都度、真剣に悩んで考えて、その時、最善の答えを導き出してください。たとえ失敗したとしても、いつか笑える時が来ます。それが人生のDigestになります。またいつか、いろんな話を聞かせてください。

OpenAI 時代

中学第3学年主任 藤田 直樹



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間皆さんの多くの学びと成長を共有できたことを嬉しく思います。これからは新たな段階に進みますが、河瀬中学校での学びを胸に、自信と誇りを持って未来に向かって進んでください。

今年は年始に干支にまつわる話をしたので、竜にまつわる小話の一つ。「登竜門」は立身出世の関門を意味する言葉で広く人口に膾炙しています。これは

『後漢書』の「李膺伝」が由来です。中国の黄河には「竜門」と呼ばれる激しい急流があり、「竜門を登ることができた鯉は竜になれる」という言い伝えがありました。この言い伝えを基に、厳しい人柄である李膺を竜門に見立て、李膺に認められた人間が出世したことから、若者が出世する関門を指す言葉になりました。

これから進む高校は皆さんにとって正に「登竜門」と言うべき場所だと思います。困難もたくさんあると思いますが、3年後立派な竜になって飛翔することを楽しみにしています。それではごきげんよう。

The memories of three years.

高校3年生



入学式



体育祭



体育祭



文化祭



2年校外学習



修学旅行

The memories of three years.

中学3年生



球技大会



入学式



校外学習



職場体験



荒神山



否定辯
ディベート



校外学習



修学旅行



1組

高校3年

また会う日まで

1組担任 山本 優実

ご卒業おめでとうございます。思い出深い3年間、さようならと別れを告げることに感慨もひとしおかと思えます。「さようなら」は「左様ならば」という接続詞を語源とし、「それならば」と訳せます。一見堅苦しい言葉ですが「～だったのでそれならば次は～」という前の状況を受け止め次の環境に身を置く前向きな合図、覚悟ともいえます。「河瀬高校での学びを修めたのでそれならば次の世界に羽ばたこう」というように。

卒業ほど前向きな別れは人生にそう多くありません。寂しさはつきませんが、これまでの経験を抱き留め糧にして進んでいくその先が幸多からんことを願っています。出会った人を大切に、これからも感謝を忘れない優しい君たちでいてください。たくさんの思い出をありがとう、さようなら。



2組

高校3年

群れない、媚びない、つままない

2組担任 佐々木 高広

仲良くしないでいい。はみ出していい。団体行動が苦手でもいい。いつもくだらなくていい。わき道にそれていい。たくさん失敗していい。だめな部分があるから愛おしい。

通説が正しいとは限らない。大衆が正しいとも限らない。人と比べない。人任せにしない。自分で考える。自分で決める。自分が大切な時間を一番大事にする。

自分が没頭できるものを見つける。達成できるまであきらめない。自分だけが自分を変えられる唯一の存在。行動したことしか積み重ならない。踏み出せば状況は変わる。経験しなければ成長はない。

疲れたら立ち止まったらいい。つまずいたら休憩すればいい。急がなくていい。でも、何もしなければ何も手に入らない。もちろん幸せも。



3組

高校3年

"Your will makes who you are."

3組担任 猪口 貴美子

ご卒業おめでとうございます。

"Your will makes who you are."という言葉を送ります。この先、目の前にどんなことが訪れようと自分の意志を大切にしてください。自分が何かに挑戦したり、人と違うことをしようとする時、必ず否定してくる人がいます。そんな時にぜひこの言葉を思い浮かべてみて下さい。他の人の助言は無視して良いという意味ではなく、自分の意志で物事を進めていくことが最終的には後悔のより少ない人生を送れるのではないかと思います。その分、自分のしたこと責任も伴います。一度きりの人生です。自分の経験したことは誰にも奪われたりしません。様々な経験が将来きっと自分の人生の中で役立つと思います。これからのご活躍を期待しています。



4組

高校3年

卒業にあたり

4組担任 珠久 慶子

「大変な時期だけど人生は続く。続けなきゃいけない。」「一つのことを一生やり続けられると確信する日がくる。」「点が将来結びつくと思わなくてはいけません。信じるものを持たなければいけない。」

これらは全て、数々の革新的な商品を世に送り出したスティーブ・ジョブズの言葉である。彼は最高経営者としての地位を確立したが、同時に過激な振幅で何度も挫折を経験してきた人物である。だからこそ彼の言葉には含蓄があり、我々に多大な影響を与えている。

令和6年3月1日、この瞬間は長い人生の中での通過点に過ぎない。混沌の時代。幾重の困難に直面し気持ちが暗くなることもあるだろう。そこで強い意志を持ち、不安を自信に変えられるかが試される。日々の生活の中で自分なりの小さな革命を起こすことはできるはずだ。この河瀬高校での経験をその原動力としてほしい。

言葉

5組担任 鯖戸 李都

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。月並みですが、門出を祝う言葉としてまずはこの一文を。少し緊張しながら皆さんに出会って、呼名した入学式からもう3年近く経ったなんて、驚きです。このような場では決まって教訓を残すものですが、私は考え方の共有を——私達の身の回りには本当に多くの言葉が溢れていて、全部を手にするなんてとてもできません。だからこそ、皆さんがどの場面でもどの言葉を自分の中に入れるかで、生き方に個性が出るのでしょうか。私が心に留めている一部を伝えて、お別れとします。

「自分が納得できるかできないか／大森元貴」

「It is not our abilities that show what we truly are, Harry, it is our choices. / Harry Potter」



5組

高校3年

夢に繋がる経験

同窓会年度幹事 幹事長

3年1組 山本 真椰



6年前の春、私は期待で胸を膨らませながら河瀬中学校・高等学校に入学しました。6年間の学校生活はとても充実したものでした。

仲間との出会いや学びの中で、数々の挑戦を通じて、たくさんの成長や喜びを得ることができました。しかし、その中には失敗や挫折もありました。その時乗り越えられたのは自分1人の力ではありません。仲間や先生、家族の支えがあったからこそ今の自分があると思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは大学で学びを深め、様々な物事に取り組み、人として成長できるよう努力していきたいです。6年間ありがとうございました。



同窓会年度幹事 副幹事長

3年4組 山田 陸翔

希望と不安を抱え河瀬高校に入学した日を、昨日のこのように思います。本当にあっという間の3年間でした。この3年間

が私を成長させ、私の人生に不可欠な一部となっています。様々なことに挑戦し、挫折や失敗もしました。しかし、そんなとき支えてくれたのは家族や先生、そして友人たちでした。様々な人の支えがあって今の私がいます。やりたいことに全力で取り組むことができた本当に幸せでした。この感謝は言葉では表しきれません。

3年間本当にありがとうございました。

1組

中学3年



芽生えた夢たちへ

1組担任 大久保 穂香

ご卒業おめでとうございます。みなさんと出会って3年。毎日の授業、様々な行事、修学旅行、たくさん泣いてたくさん笑ったこと...いろいろな出来事が思い出されます。みなさんと過ごした毎日は、私自身も共に成長させてもらった宝物です。

大きな夢を達成するためには、「1年目には種をまき、2年目には

は水をやり、3年目には花を咲かせる。」と言われる。努力は決して裏切りませんし、また、夢は諦めない限りきつと叶います。この3年間の「地道な努力」が、今のみなさんの夢へ繋がっています。この先どんなことがあっても、努力家のみなさんなので、おのずと自分の求める道が開けてくるはず。新たな花を咲かせる素晴らしい未来へ一歩ずつ踏み出してください。

卒業生のみなさん、楽しい日々をありがとう！みなさんのご活躍を心から祈っています。

2組

中学3年



出会いに感謝

2組担任 村田 悠喜

“振り返れば長いようであつという間の3年間でしたね...”と言ってしまうくらい、濃い1年間でした。中学担任が初めてで、ドキドキしながら初日を迎えましたが、みんなは優しく迎え入れてくれて、すぐに打ち解けることができました。誰にでも優しくできる場所は、みんなの強みの1つですね。そんなみんなを知

れば知るほど大好きになっていき、たった1年間しか中学時代を一緒に過ごすことができなかったことが悔しいくらいです。みんなと過ごした短くも濃いこの1年間は、私にとってもかけがえのないものになりました。出会いに感謝ですね。

高校生になっても、出会いはたくさんあります。それは人との出会いだけではなく、新たな学びや経験だったりもします。そんな新たな出会いを大切に、大きく成長活躍していくことを心から願っています。1年間本当にありがとう！

部活動の記録

高校 運動部

◇男子バスケットボール部

第76回滋賀県民スポーツ大会
高等学校重奏の部
ベスト8

高校 文化部

◇吹奏楽部

第19回中部日本個人・重奏コンテスト滋賀県大会
高等学校重奏の部
・クラリネット4重奏 《金賞》
・打楽器3重奏 《銀賞》
第52回滋賀県アンサンブルコンテスト
高等学校の部
・フルート3重奏 《銀賞》

中学 文化部

◇吹奏楽部

第19回中部日本個人・重奏コンテスト滋賀県大会
中学生重奏の部
・チューバ2重奏 《金賞》
第52回滋賀県アンサンブルコンテスト
中学校の部
・サクソフォン4重奏 《銀賞》

3学期の学校行事

高校
2年

修学旅行 1月24日(水)～27日(土)沖縄方面



総合的な探究の時間

高校
1年学年内で一人ずつ
ポスター発表高校
2年中3や高1を前に
チームでポスター
発表

中学生



中学生ディベート発表会



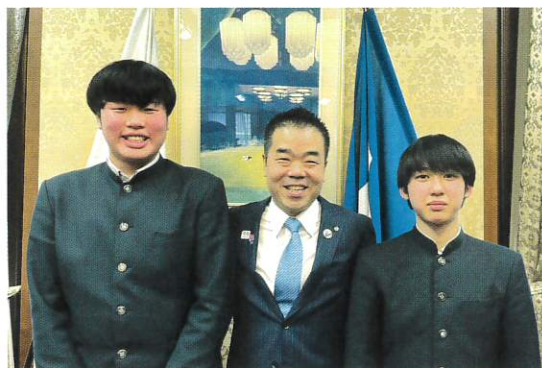
中学生百人一首大会



中学1年よし笛体験

成長の足跡 生徒たちの活躍

三日月知事への インタビューが実現！



増田一謙さん/三日月知事/田中拓夢さん

「総合的な探究の時間」の活動の一環で、高校2年生の増田一謙さんと田中拓夢くんが県庁知事室にて三日月知事にインタビューを行いました。二人は琵琶湖の水質問題についての研究を行っており、知事のご厚意により今回の訪問が実現しました。二人からは今後の県としての対策や、湖岸清掃活動について質問をさせていただき、知事からは二人の質問に丁寧に答えていただくとともに、学校生活や将来の夢についても問いかけがあるなど、和やかなインタビューとなりました。

探究学習のアイデアを形に。 彦根の街おこし企画で優秀賞！



前列中央、土田華子さん（ピバシティ彦根の表彰式）

平和堂・キリン・ブリヂストン共同企画「彦根の次世代を担う学生たちの街おこしの夢を応援！～高校生と大学生の連携・交流による地域活動支援～」にて高校2年生・土田華子さんの企画タイトル「滋賀オリジナルゆるスポーツの作成！」が優秀賞を受賞しました。

高校1年生時の総合的な探究の時間での研究内容を元に、彦根の街おこしに関するアイデアを考え、平和堂本社にてプレゼンを行い、滋賀大学の大学生とともに企画内容をブラッシュアップしました。企画詳細は二次元バーコードをご確認ください。



高校生による【しが】学びの祭典2023で科学部3名が発表しました



12月下旬、栗東芸術文化会館さきらにて、探究活動の成果を発表する催しが行われました。本校からは高校1年生の池本和葉さん・森崇之さん・太田明宏さんの3人が発表者として参加し、科学部で取り組んでいる、彦根城に自生するオオトックリイチゴから採取した酵母を用いたパン作りについて、県内の高校生や教育関係者約500名を前に発表を行いました。

学校評価アンケートのお礼

学校関係者評価（保護者）にご協力ありがとうございました。中学校今後の学校運営及び教育活動の改善に活かしていきたいと思っております。アンケート結果は後日、学校のホームページの方でお知らせさせていただきます。

広報誌コンクールで優秀賞を受賞

今年度より企画・デザインを大幅リニューアルした「志成Vol.114号 夏号」が滋賀県公立高等学校PTA連合会の広報誌コンクールにおいて優秀賞を受賞しました。

